

# 石鎚山ヒルクライムの開催（久万高原町）

## 【取組概要】

- ① 開催日 平成26年8月31日(日) スタート:午前9時
- ② 開催場所 おもごふるさと市場(スタート)～土小屋(ゴール)  
(標高572m)←距離22.1km→(標高1,492m)  
・うち計測区間の走行距離 18.4km  
・標高差920m(獲得標高差1,100m)
- ③ 主催 石鎚山ヒルクライム実行委員会  
久万高原町、久万高原町教育委員会、久万高原町商工会、  
久万高原町観光協会、面河ふるさと市実行委員会、石鎚神社、  
株式会社石鎚観光、株式会社テレビ愛媛、面河地区公民館他
- ④ 協賛・後援 協賛37社 後援10社
- ⑤ 申込者数 661名(一般625名+協賛企業枠出走者36名)
- ⑥ 出走者数 578名 ⑦ 完走者数 576名(完走率99.7%)

人口 9,177人(H27.3末)

担当部署 久万高原町教育委員会  
事業実施期間 平成26年8月  
取組事例のURL<http://cycle-shikoku.jp/ishizuchi-hillclimb/>



中村知事(名誉大会長)・高野大会長他のスタート

## 【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

久万高原町や地元関係者で組織する実行委員会が主体となり、愛媛県や県内外の多くの企業が運営、コース上のボランティアスタッフとして参加し、地元住民だけでなく、民官が協働して取り組む新しい形のイベントである。また、信号が少なく、起伏の激しい地形は、デメリットとみられがちな条件だが、コア層からは魅力的に映る。不利といわれる地域資源をメリットに変えた試みとして、成功した事例である。

第5回を記念大会として位置付け、旅行業者と提携したツアー商品の造成や、定員増加による新たな層の獲得につなげる。  
また、ターゲットを絞った効果的な情報発信により大会の認知度を高めるとともに、石鎚山系に対する新たな観光ニーズを掘り起こし、観光資源としての石鎚山の認知度を高め、石鎚国定公園の経済活性化に寄与する。



協賛企業(愛媛銀行)のブース出展